医工連携プログラムとは

「医工連携企画」は、高度なものづくり技術を有する地域中小企業もしくはそれら中小企業を取りまとめる地域産業支援機関の皆さまに技術展示をお願いする "参加型"のプログラムです。

会場では、ものづくり中小企業等の有する様々な技術と、医師を中心とした医療者の ニーズをマッチングさせ、新たな医療機器の創出を支援する企画を準備しています。

医工連携企画 参加費:5,000 円

本参加費は、以下のご参加が可能となります。

- *医工連携展示エリア
- *企業展示エリア
- *医工連携特設ステージ企画
- *医工連携に関する総会学術プログラム(医工連携セッション 1~4)

上記以外の総会プログラムにご参加される場合は、別途、第34回日本内視鏡外科学会総会の参加登録が必要となります。

第34回日本内視鏡外科学会総会の参加登録をお済ませの方は、医工連携企画へのご参加も可能です。

企画 1 医工連携企画展示・ブースツアー

◆医工連携企画展示

外科分野・内視鏡外科分野において、医療現場の課題解決に資する医療機器の開発・改良に繋がるソリューションを提案する企業の展示を行います。内視鏡外科分野において「医療現場の課題やニーズを直接掴みたい」、「これまで培ってきた優れた技術を最先端の外科分野で活かしたい」、「新しく医療分野に進出したい」等の強い意欲を持つ企業が多数出展予定です。

展示時間

12月2日(木) 10:00~17:20

12月3日(金) 8:00~17:50

12月4日(土) 8:00~15:00

◆ブースツアー

ブースツアーとは、医療機器開発に実績のある医師が「ツアーコンダクター(ツアコン)」となり、自分のアイデアを実現してくれそうな企業を探している医療者や、面白い新技術を持った企業を探している医療者を複数連れて、展示ブースをラウンドするというものです。ものづくり企業が持つ要素技術のプレゼンを聞くことが出来る絶好の機会となります。

ツアコンからは、知財に関する注意事項、出展内容の分かりやすい説明、医工連携の 進め方等の話を聞くことができます。医療機器開発に興味のある方は、是非ご参加く ださい!

ツアー実施時間

12月2日 (木) 10:30~11:30

12月2日 (木) 15:30~16:30

12月3日(金)13:30~14:30

12月3日(金)16:00~17:00

※当日参加ご希望の場合は、ツアー開始 15 分前までに医工連携企画受付(神戸国際 展示場 1 号館 1F)までお越しください。

出展企業・ツアー参加企業・団体は12ページよりご確認ください。

企画 2 総会学術プログラム

医工連携セッション1

シリーズ:外科医による医療機器開発 -その壱 若手から取り組む医工連携-

日時:12月3日(金) 8:00~9:30

会場:第4会場(神戸国際会議場 3F レセプションホール)

司 会:高木 剛(西陣病院外科)

早稲田龍一(福岡大学呼吸器・乳腺内分泌・小児外科)

アドバイザー:中島 清一(大阪大学次世代内視鏡治療学)

MEC1-1 国内有数の医療機器開発拠点設立を目指して

井上 学(国立がん研究センター中央病院大腸外科)

MEC1-2 アウトカム向上を目指した医療機器の開発

長谷川 寛(国立がん研究センター東病院大腸外科/国立がん研究センター東病院 NEXT 医療機器開発センター手術機器開発室)

- MEC1-3 女性の尿管ステント閉塞時の交換手技 -膀胱鏡を使わずにステントを交換する試み-小林 加直(労働者健康安全機構中国労災病院泌尿器科)
- MEC1-4 気腹ガス再循環型気腹装置 AirSeal System における気腹チューブ加温器作成とその効果について

吉松 軍平(福岡大学消化器外科)

MEC1-5 手術手技練習用組織モデルの開発経験

森田 照正 (順天堂大学医学部附属順天堂医院心臓血管外科)

MEC1-6 体腔内吻合に伴う腹腔内汚染を防止する Surgical Sponge Seat (SSS) の開発 濱元 宏喜(大阪医科薬科大学)

MEC1-7 感染、血栓のない外シャント

山田 大介(東京大学医学部附属病院血液浄化療法部/東京大学医学部附属病院泌 尿器科)

- MEC1-8 粘性が高い体液に用いるための、流体力学を利用した吸引装置の開発 横江 巧也 (関西医科大学付属病院産婦人科)
- MEC1-9 鏡視下手術でのモニター画面へのポインティングツールの開発 篠原健太郎 (公立西知多総合病院)

医工連携セッション2

内視鏡外科領域の Emerging technologies

日時:12月3日(金) 9:40~11:10

会場:第4会場(神戸国際会議場 3F レセプションホール)

司 会:遠藤 裕一(大分大学消化器・小児外科)

竹下 修由(国立がん研究センター東病院機器開発推進室/大腸外科)

MEC2-1 国産内視鏡手術支援ロボットの産学連携開発: short-distance telesurgical network 構築 に向けた取り組み

須田 康一 (藤田医科大学総合消化器外科/藤田医科大学高度情報医療外科学共同研究講座)

MEC2-2 手術支援ロボットを用いた遠隔手術の実証実験について 海老原裕磨(北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室 II)

MEC2-3 内視鏡外科手術のデータベース構築 一現状と今後の展望 平尾 彰浩(国立がん研究センター東病院手術機器開発室)

MEC2-4 新しい地図で外科医療を未来へ導く~若き消化器外科医と AI エンジニアたちの取り 組み

篠原 尚(兵庫医科大学上部消化管外科)

MEC2-5 医工連携による AI 開発:腹腔鏡下胆嚢摘出術におけるランドマーク教示システム 遠藤 裕一 (大分大学消化器・小児外科)

医工連携セッション3

ソサイエティ 5.0 における内視鏡外科と AI ホスピタル〜新しい病院の形と今後の課題〜

日時:12月4日(土) 8:00~9:30

会場:第13会場(神戸国際展示場 3号館 1F 特設会場)

司 会:内藤 剛(北里大学医学部下部消化管外科学)

MEC3-1 ソサイエティ 5.0 における新たな病院機能

矢作 尚久(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科)

MEC3-2 病院における Digital Transformation ~その IT 化で何をしたいのですか?~ 徳増 裕宣(倉敷中央病院臨床研究センター/大原記念倉敷中央医療機構臨床医学 研究所臨床研究支援センター/リアルワールドデータ株式会社)

MEC3-3 名古屋大学におけるスマートホスピタル構想への取り組み

白鳥 義宗(東海国立大学機構医療健康データ統合研究教育拠点/名古屋大学医学 部附属病院メディカル IT センター)

MEC3-4 東北メディカル・メガバンク計画におけるデータセキュリティと利活用促進での取り 組み

> 本下 賢吾 (東北大学東北メディカル・メガバンク機構/東北大学大学院情報科学 研究科)

医工連携セッション4

外科医とベンチャー 一光と影一

日時:12月4日(土) 9:40~11:10

会場:第13 会場(神戸国際展示場 3 号館 1F 特設会場)

司 会:中島 清一(大阪大学次世代内視鏡治療学)

和田 則仁(湘南慶育病院外科)

MEC4-1 外科医ベンチャー・万事塞翁が馬

島田 順一(京都府立医科大学大学院保健看護学研究科)

MEC4-2 M&A に至った国産手術支援ロボット開発ベンチャーの実例

伊藤 雅昭(国立がん研究センター東病院大腸外科/国立がん研究センター東病院 NEXT 医療機器開発センター手術機器開発室)

MEC4-3 再生医療と医療機器の融合を目指した起業 ―外科医としての喜びと苦悩―

八木 洋 (慶應義塾大学医学部外科学 (一般·消化器) / MatriSurge 株式会社)

MEC4-4 手術支援 AI システムの開発

小林 直(アナウト株式会社/津田沼中央総合病院)

各セッションの抄録は総会ホームページの「オンラインプログラム・抄録検索サービス MICEnavi」よりご覧ください。

企画3 医工連携特設ステージ企画

女性医師セミナー

「Woman surgeon のみなさん、手術室にあったらいいなと思うものありませんか?」

日時:12月2日(木) 10:30~12:00

会場: 医工連携企画特設ステージ(神戸国際展示場 1 号館 1F)

司会: 出浦伊万里(聖マリアンナ医科大学病院産婦人科) 河野恵美子(大阪医科薬科大学一般・消化器外科)

講演1 手術中のアンダーウェアどうしてますか? 竹原 裕子(岡山済生会総合病院外科)

講演 2 手術室の足元を快適に

林 沙貴(市立砺波総合病院外科)

講演3 手術室での冷房対策についてのアンケート―寒い手術で体調を崩すことはないですか― 川嶋 久恵(筑波大学消化器外科)

講演 4 オペ室にあったらいいなと思うもの〜術者が妊娠中だったら〜

金森 玲(聖マリアンナ医科大学産婦人科学)

講演 5 一泌尿器科女性医師が感じる手術用デバイスの困った点について 佐古 智子(岡山大学病院泌尿器科)

講演 6 腹腔鏡手術習得におけるオンライン手術の経験とオンライン手術見学のすすめ 松下 千枝(済生会中和病院泌尿器科)

講演7 患者にとっての低侵襲手術と外科医にとっての低侵襲手術を両立する 大越 香江(日本バプテスト病院外科)

講演 8 Scissors model, pistol grip (Ring handle) の問題点 河野恵美子(大阪医科薬科大学一般・消化器外科)

各講演の抄録は総会ホームページの「オンラインプログラム・抄録検索サービス MICEnavi」よりご覧ください。

PMDA ジョイントセミナー

日時:12 月2日(木) 15:00~16:30

会場:医工連携企画特設ステージ(神戸国際展示場 1 号館 1F)

司会:花井 恒一(藤田医科大学先端ロボット・内視鏡外科総合消化器外科)

田村 敦史(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

講演1 新たな医療機器審査制度の紹介

田村 敦史(独立行政法人医薬品医療機器総合機構医療機器審査第二部部長)

講演2 医療機器とは?

中村 梢(独立行政法人医薬品医療機器総合機構医療機器審査第二部)

講演3 医療機器承認申請に向けた薬事相談の紹介

伊藤 好美(独立行政法人医薬品医療機器総合機構医療機器審査第二部)

講演 4 薬事承認審査時の困った事例紹介

中村 泰子(独立行政法人医薬品医療機器総合機構医療機器審査第二部)

講演 5 大学 ARO 出向者からみた PMDA の業務

内田 大輔(独立行政法人医薬品医療機器総合機構医療機器審査第二部臨床担当)

講演6新しい承認申請制度の紹介

穴原 玲子(独立行政法人医薬品医療機器総合機構医療機器審査第二部審査役)

各講演の抄録は総会ホームページの「オンラインプログラム・抄録検索サービス MICEnavi」よりご覧ください。

知財セミナー (日本弁理士会)

「医療機器開発を目指す外科医のための知財の基本 |

日時:12月3日(金) 10:45~11:45

会場:医工連携企画特設ステージ(神戸国際展示場 1 号館 1F)

外科医は手術室における医療機器のユーザーであるとともに、現場の課題を認識し解決するポテンシャルを持つ立場でもあります。企業と連携して独創的な医療機器を開発することで、よりよい医療を患者さんに提供することができれば大きな喜びとなるでしょう。しかし、そのアイディアを製品として世に出すためには知的財産権 (知財) に関して最低限のことを知っておく必要があります。本セミナーでは、これから医療機器開発を始めようと考えている若手外科医にとって重要な情報をコンパクトにお知らせします。医学部の系統講義では教えてくれなかった知財の基本を理解して効率的に医療機器開発に取り組んでいただきたいと思います。

司会:和田 則仁(湘南慶育病院外科)

講演:越智 豊(日本弁理士会関西会 兵庫地区会 副地区会長)

クリスタル・アワード受賞講演

第32 回総会(2019 年度) クリスタル・アワード受賞者

日時:12月3日(金) 13:15~14:00

会場:医工連携企画特設ステージ(神戸国際展示場 1 号館 1F)

司会:武中 篤(鳥取大学医学部腎泌尿器学分野)

神崎 正人(東京女子医科大学呼吸器外科)

演者:高木 剛(西陣病院外科)

浅尾 高行(群馬大学医学部附属病院数理データ科学教育研究センター)

島田 順一(京都府立医科大学附属病院呼吸器外科)

近畿経済産業局ジョイントセミナー

「あなたの地域でアイデアを形にしませんか」各地域の医工連携支援紹介

日時:12月3日(金) 15:00~16:30

会場:医工連携企画特設ステージ(神戸国際展示場 1 号館 1F)

とがった技術を有するものづくり企業と一緒に、医療の質が向上するような医療機器開発をしませんか?AMED 医工連携イノベーション推進事業(地域連携拠点自立化推進事業)に採択された東北、つくば、中部、関西、九州の各拠点が、地域のものづくり企業とのマッチングから知財の問題まで、事業化のお手伝いをいたします!優れたアイデアをお持ちの医療関係者のみなさま、まずは本セミナーにご参加ください。

司会:七戸 俊明(北海道大学大学院医学院・医学研究院消化器外科学教室II) 川原 裕美(近畿経済産業局 バイオ・医療機器技術振興課 係長)

(1) 開会挨拶

田中 一成(経済産業省 商務・サービス政策統括調整官)

- (2) 医療機器開発の方向性について
 - 髙田 浩之(経済産業省 商務・サービスグループ医療・福祉機器産業室 係長)
- (3) AMED 地域連携拠点について
 - ①つくば医療機器開発地域エコシステムの基盤・支援体制の整備と自立化推進による医工 連携シーズのグローバル事業化加速

犬塚 降志(一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構 事務局長)

- ②ふくしま医療機器開発支援センターを活用した東北地域連携拠点自立化に向けた研究 小林 利彰 (ふくしま医療機器開発支援センター センター長)
- ③中部圏において持続的に次世代医療機器産業を創出するための産・学・支援機関の広域連携ハブ拠点の形成と運用

羽田野泰彦(公益財団法人名古屋産業科学研究所 中部 TLO 技術顧問)

- ④国内随一の医療機器開発エコシステム構築に向けた関西地域連携拠点自立化推進事業 松山 裕(大阪商工会議所 産業部 ライフサイエンス振興担当 課長)
- ⑤九州版エコシステム構築に向けた医療機器開発・事業化促進~医療機器ディーラー臨床 工学技士らの視点を入れアイデア発掘から販売まで切れ目のない支援を実現~ 矢田部律夫(九州ヘルスケア産業推進協議会 業務部長)

企画4 クリスタル・アワード募集(審査結果報告)

優れた医療機器開発の「成功事例」に関して、以下の要件で募集、審査を行いました。

応募要件:

- ①医療従事者(日本内視鏡外科学会 会員)の発案と日本国内のものづくり企業との 医工連携によって製品化された事例であること。
- ②現在も市販されている医療機器であること。

審査基準:

- ①医療への貢献および販売数の観点から優れたものであるか。
- ②医療者のニーズに基づく優れた医療機器開発を紹介し、さらなる医工連携の促進につながる内容であるか。

審查方法:

第34回日本内視鏡外科学会総会および日本内視鏡外科学会 医工学連携委員会にて厳 正に審査いたしました。

審査の結果、次の3例が、第34回日本内視鏡外科学会総会(医工連携企画) クリスタル・アワードを受賞されましたのでご案内いたします。

第1位

応 募 者 中瀬 有遠 (市立奈良病院 消化器外科) 開発製品名 トロックス®-D カートリッジ

第2位(2例)

- ①応 募 者 櫻澤 信行 (日本医科大学付属病院 消化器外科) 開発製品名 Dolphin 先端吸引鉗子
- ②応募者松本智司 (日本医科大学千葉北総病院) 中村慶春 (神栖済生会病院)

開発製品名 セクレア

※会員懇親会での審査結果発表・表彰を予定しておりましたが、中止のため本誌面にて 公表させていただきます。 クリスタル・アワード受賞者には賞状、表彰盾の他、 第1位の応募者には以下の商品を贈呈いたします!

【第1位賞品】

マイクロツール 腹腔鏡手術器具セット

大阪大学Project ENGINEとの共同開発!医療機器や電子機器部品などを製造する企業によって作られた実際に可動するミニチュアサイズの腹腔鏡手術器具のセットです。

メリーランド剥離鉗子、無傷性把持鉗子、ラパロスコープ、トロッカー、それぞれの器具に装着しピンバッジとして使用できるピンズホルダーの5点入りとなっております。

ネーム刻印をさせていただきますので、デスクに置いてネームプレートとしてもご利用いただけます。

医療機器ではございません。









株式会社キャステム

URL: https://www.castem.co.jp/

〒720-0004

広島県福山市御幸町大字中津原 1808 番地 1

TEL: 084-955-2221

医工連携企画展示出展企業・団体のご紹介

株式会社デュプラス

株式会社デュプラスは、新商品、新素材そして新しいアイデアを皆様方により質の高い企画として提供する企業です。企画から最終梱包まで完全製品で出荷致します。これまで制御機器や各回路、基盤の設計開発を行ってきましたが、新たに竹繊維を使用した製品開発に取り組んでおります。竹繊維の特徴である保温性、肌触りの良さ、抗菌性等を活かした靴下やひざ掛け等を製品化しましたが、この技術を生かして医療関連にも参入したく是非とも展示ブースを訪問頂ければと思います。





株式会社ビッグエムズワイ

<手術手技 VR>

Da Vinci によるロボット手術の映像を、VR ゴーグルを用いる事で3D 映像として再現し、手技に関する問題を組み込むことで教育学的に効果の上がる方法で、繰り返し学習できるツール

<解剖学教育 AR アプリ>

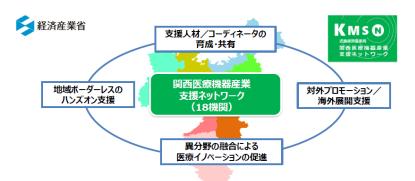
AR (拡張現実)を用いて、疑似的に人体組織を3D再現し、実際の人体に重ねて表示できるようにすることで、初学者や手術初心者の手術に必要な解剖学の学びの効率化を図り、従来の2次元画像では得られない高い学習効果を生み出すツール





関西医療機器産業支援ネットワーク(経済産業省近畿経済産業局)

関西ものづくり企業の医療機器分野への新規参入の促進や、医療機器開発を進めるため、 関西地域の産業支援機関等とネットワークを形成し、各地の自立的な取組をベースに、他 機関と連携すべき事業や、「オール関西」として面的に取り組むことでより効果増大が期 待される事業を共同で実施しています。



関西医療機器産業支援ネットワーク

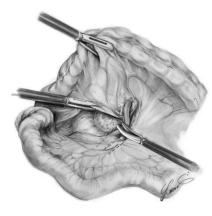
福井しあわせ健康産業協議会、(公財)滋賀県産業支援プラザ、(公財)京都産業21、(公財)京都高度技術研究所、京都リサーチパーク(株)、大阪商工会議所、(公財)堺市産業振興センター、関西広域連合、八尾市立中小企業サポートセンター、(地独)大阪産業技術研究所、(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構、大阪バイオ・ヘッドクオーター、(一財)大阪デザインセンター、(公財)新産業創造研究機構、(公財)神戸医療産業都市推進機構、姫路商工会議所、(公財)奈良県地域産業振興センター、(公財)かかやま産業振興財団

L&K メディカルアートクリエイターズ株式会社

当社は、医療に特化した【メディカルイラストレーション】を提供する会社です。医療に関する知識をもって医師とともに協働で、伝えたい人に伝えたいことを余すことなく伝える手助けをすることが当社の役割です。ビジュアルのプロとして学術論文ではよりスペシフィックな表現を、患者説明ではピンポイントでわかりやすい表現を、パンフレットなどではデザイン性も考えた表現を、ニーズとシーンに合わせた提案を致します。







横浜医療機器ビジネス研究会(IDEC 横浜)

横浜にはユニークな技術をもったものづくり企業や IT 企業が集積しています。IDEC 横浜は、横浜発の医療機器開発を目指して 「横浜医療機器ビジネス研究会※」を組織し、現場課題抽出~開発~事業化まで一貫支援しています。横浜独自の助成制度もありますので、開発をお考えの際にはぜひご相談ください。

※医療機器等開発経験のある企業等60社・団体で構成されています。



東京都医工連携 HUB 機構

東京都医工連携 HUB 機構は、医療関係者と企業の交流機会を提供し、医工連携により臨床現場のニーズに基づく医療機器開発・事業化を推進します。 開発に際しては、医療機器特有の法規制やマーケットに関するノウハウを有する製販企業との連携による、確実な事業化を目指します。マッチング促進のために、公式 HP で臨床ニーズと技術シーズを掲載し、 臨床機関、製販企業、ものづくり企業のマッチングを図っています。



日本パーカライジング株式会社

医療機器の付加価値を向上させる多様な機能を付与する表面処理技術

株式会社トライテック

鏡視下手術における硬性内視鏡スコープレンズの汚染問題を解決するべく開発されたのが硬性内視鏡洗浄カバーです。本開発品は、既存のスコープレンズにワンタッチで被せ、カバーの内側を流れる洗浄液とガスによって体内に入れたままで短時間でのレンズ洗浄を可能としました。本開発品によって手術中の術者の視界確保、ストレス軽減、手術時間の短縮、患者の安全性向上など、医療業界への貢献が期待されます。



大場機工株式会社

外径 ϕ 0.05 の"世界一細い"超極細ステンレスパイプ、肉厚 0.03mm の超薄肉ステンレスパイプをはじめ、精密ステンレスパイプをお客様のご要望に合わせて専用仕様で製造いたします。 その他にも異形・ハニカムなどの特殊パイプ、創業技術である精密切断、曲げ、穴あけ、溶接などの各種加工までご対応します。 またプラスチック光ファイバーの加工・アッセンブリー事業も展開しております。

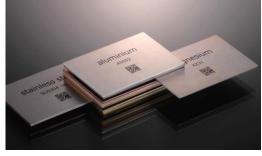


岩倉溶接工業所

~各種レーザー加工と、職人による板金・溶接加工~

- ① 薄板、極小部品のレーザー溶接
- ② ロボットによるアルゴン溶接
- ③ 職人による各種素材の溶接
- ④ 各種金属への耐腐食性、視認性に優れた黒色レーザーマーキング(文字、目盛り、二 次元コード他)
- ⑤ インク、塗料を使わないカラーレーザーマーキング
- ⑥ ISO9001、JIS Q 9100 認証工場
- ⑦ 医療機器製造業登録





タマチ工業株式会社

レーザー加工機を3台保有。

(YAG レーザー機・ファイバーレーザー機・ファイバー+フェムト秒レーザー機)

- 1. 材質は SUS/NiTi/CoCr 等、金属であれば加工可能
- 2. レーザーの最少切断幅は 20 μ m。
- 3. パイプの材料径はΦ0.2~Φ12.3 まで対応可能
- 4. 精度は熱影響を受けない状況で±2μm
- 5. 切削加工で生じるバリやカエリが無く切断面も綺麗です

各設備の特徴を活かしながら、ご要望に応じた対応の実施が可能です。また形状記憶処理・電解研磨の技術も持っているので、それぞれの材質において、電解研磨まで実施したベアメタルステントの供給ができます。

東海部品工業株式会社

先端加工設備やクリーンルームを有した製造拠点にて、チタンやステンレスなどの難削材の精密加工から組立、滅菌包装、検査・出荷までの一貫生産体制と医療機器の国際品質マネジメント規格 ISO13485 に準拠した品質・衛生管理体制を構築し、インプラント・手術機械を始めとする各種医療機器の製造・供給が可能です。また、お客様の仕様・用途に合わせた工業用ネジや電子電機機器等に用いる極小のネジやパーツも製造・供給も可能です。

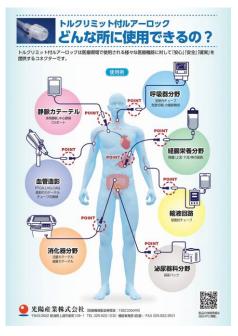




光陽産業株式会社

光陽産業㈱は主にガスや水道など住宅設備関連のバルブや継手を開発から製造まで行っております。これまで培った技術と柔軟な発想力を大切にし、多分野への展開を模索しており、今回展示します技術もその1つです。「トルクリミット付ルアーロック」コネクタ。 医療現場の「漏れ」「固着」「割れ」などの接続不安を解消する為の技術です。医療従事者の方の不安や労力を解消する為に、医療機器接続の新技術としてご提案いたします。





株式会社エイディーディー

-120°Cを実現した超低温技術を応用し、足裏を-120°Cの保冷材で数分間冷却する事により、疲労回復、浮腫みの改善等の効果が期待できる装置であるクライオフットの展示及び保冷材を-120°Cに冷却する小型ウルトラディープフリーザーの展示

株式会社荒木製作所

プラスチックの「圧空成形」で製作した医療機器外装で使用されるカバー

株式会社朝日ラバー

朝日ラバーがご紹介させて頂く技術は、手術手技訓練用シミュレーターとなります。一般に、体内構造がリアルなモデルは高額となり、医療教育の場では十分に行き渡っておりません。今回ご紹介するシミュレーターは、福島県立医科大学との共同研究により、外科医が望む体内構造を安価に再現しております。安価素材を使用し、手術用途毎の体内構造を立体成型することで、安価でリアルなシミュレーターの作製を可能としました。





ふくしま医療機器開発支援センター

医療従事者・医療機器メーカー様へ福島県内企業の技術・アイデアを提案いたします。

はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点

医工連携のワンストップ窓口として、地域の強みを活かした産学官連携による連鎖的・継続的な新技術の事業化、オンリーワン・ナンバーワン製品の創出を推進する体制を確立し、健康医療関連産業の基幹産業化、雇用の増進、ベンチャー創出通じて地域の活性化を目指しています。

株式会社フジネット

医療機器を支える縁の下の力持ち役を担うものや、医療従事者の負担を軽減するもの、医療ミスを防ぐことが期待されるものなどに、線材加工の豊富な経験と技術を駆使して、チャレンジして参りました。医療現場でのお困り事を少しでも解決したいと懸命に取り組む中、現場の強い要望から誕生した製品の多くは、既にご利用いただいている医療機関さんからは、お陰様で高い評価をいただいております。解決が困難に思えることでも、可能な限り挑戦させていただきます。





株式会社ナユタ

「電気エネルギーの効率の良い変換を実現する」ことを目標に他分野に渡る特殊電源を手掛けてきました。なかでも、創業 2 年目に超音波診断装置用電源の開発に携わった経験が、すべての特殊電源を生み出す礎となりました。もっとも特徴的なのが、電源を小型・軽量化することです。これにより、製品自体を小型化でき、「電気エネルギーの効率の良い変換を実現する」こととなりました。

株式会社美浜工業

「人体の型取りシート」は自動車座席の評価用に輸送機器業界で生まれました。60℃で形状変化をするプラスチックを芯材に使った本製品は「自分の顔で形をとったフィット感抜群のマスクや自分の踵で型取り、靴にセットする靴擦れ防止用インソールとして製品化され、今後更に医療、健康、スポーツ分野での用途拡大が期待されます。

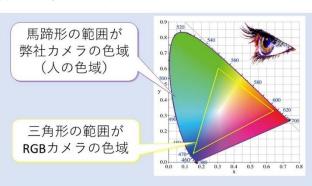




株式会社パパラボ

弊社は「2次元色彩計」という色情報を数値化できる装置を製造・販売しています。一般的なカメラやモニタは人の色域を完全に再現できません。弊社のカメラは静岡大学で開発されたフィルターを用いることで、一般的な RGB カメラでは捉えきれない忠実で幅広い色情報が取得できます。忠実な色再現によって、ローカルでの内視鏡手術はもちろん、リモートでの手術や画像による診断(皮膚、病理)の可能性が広がります。





株式会社アメリオ

CAD/CAM、CAEソフトウェアの新技術開発・教育の提供および技術計算ソフトウェア構築等の事業経験を通して蓄積された高度な3D形状処理技術をベースとしたソフトウェア開発を行っています。医工連携による共同研究・開発等を通して、CTから得た画像や3Dモデルに対する各種処理、ソフトウェアのユーザーインターフェース開発等に実績があります。